

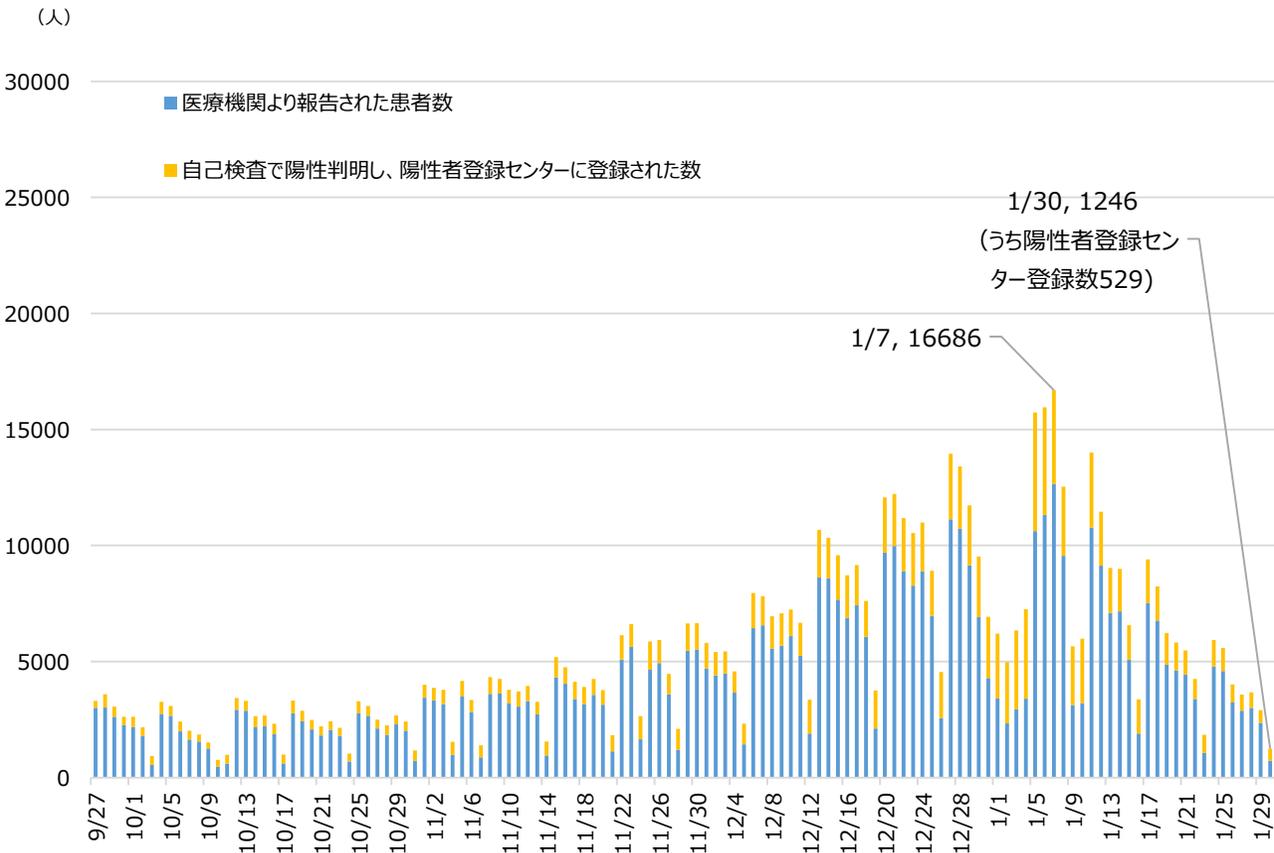
- | | | |
|---|------------------|--------|
| 1 | 陽性者数等の推移 | P2~14 |
| 2 | クラスターの発生状況 | P15~17 |
| 3 | 【参考】インフルエンザの流行状況 | P18~19 |

1 陽性者数等の推移

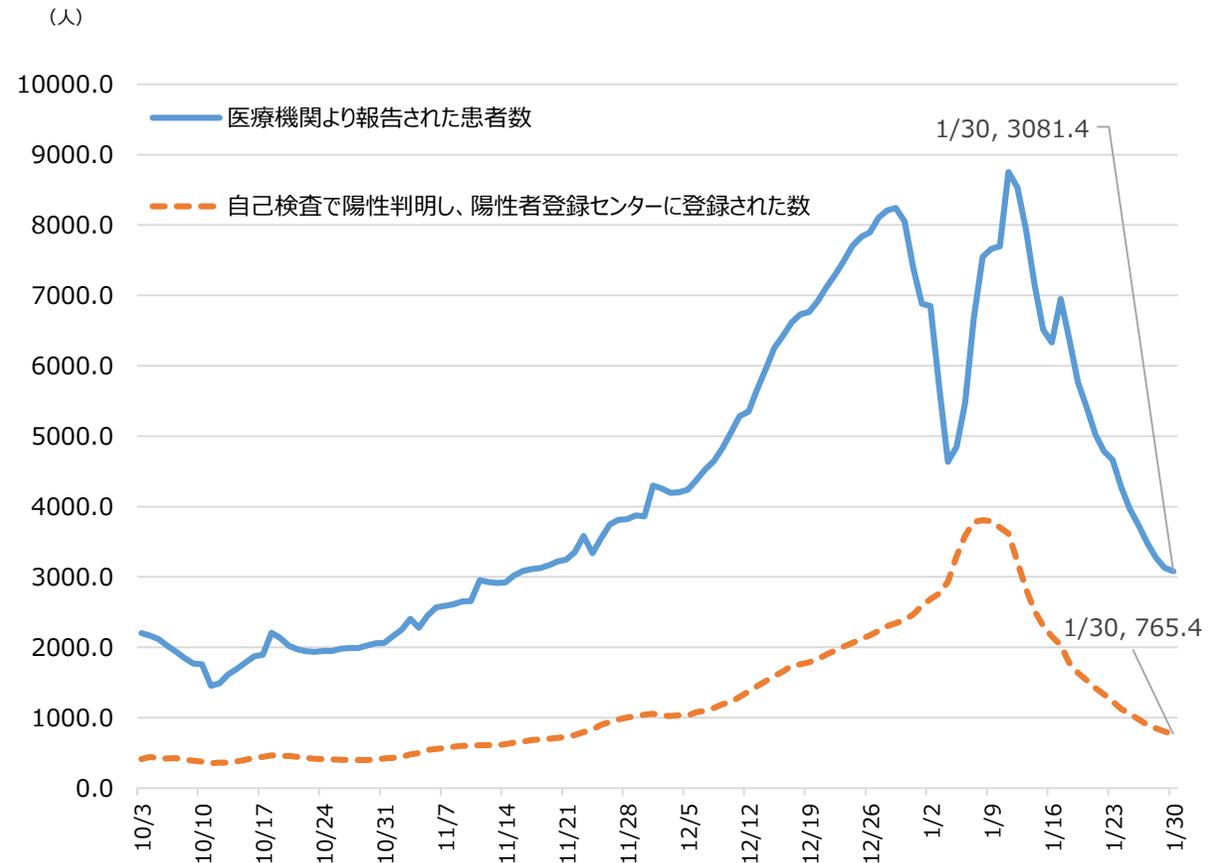
陽性者数の推移（1月30日時点）

- ◆ 新規陽性者数は減少傾向が続いている。
- ◆ 医療機関より報告された患者数（7日間移動平均）及び陽性者登録センター登録者数（同）もともに減少傾向。

【新規陽性者数】



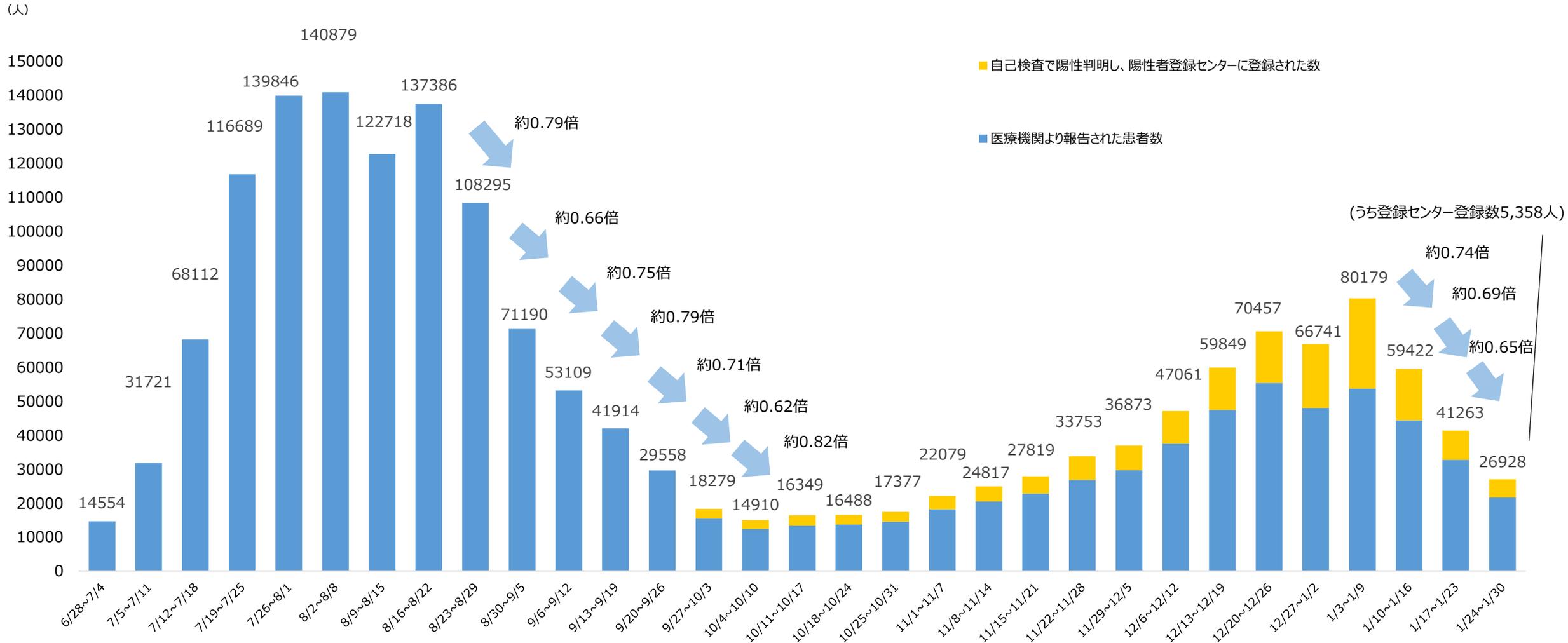
【新規陽性者数の内訳 7日間移動平均】
（医療機関より報告された患者数、陽性者登録センター登録数）



※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は、医療機関より報告された患者数及び大阪府陽性者登録センター登録数の合計

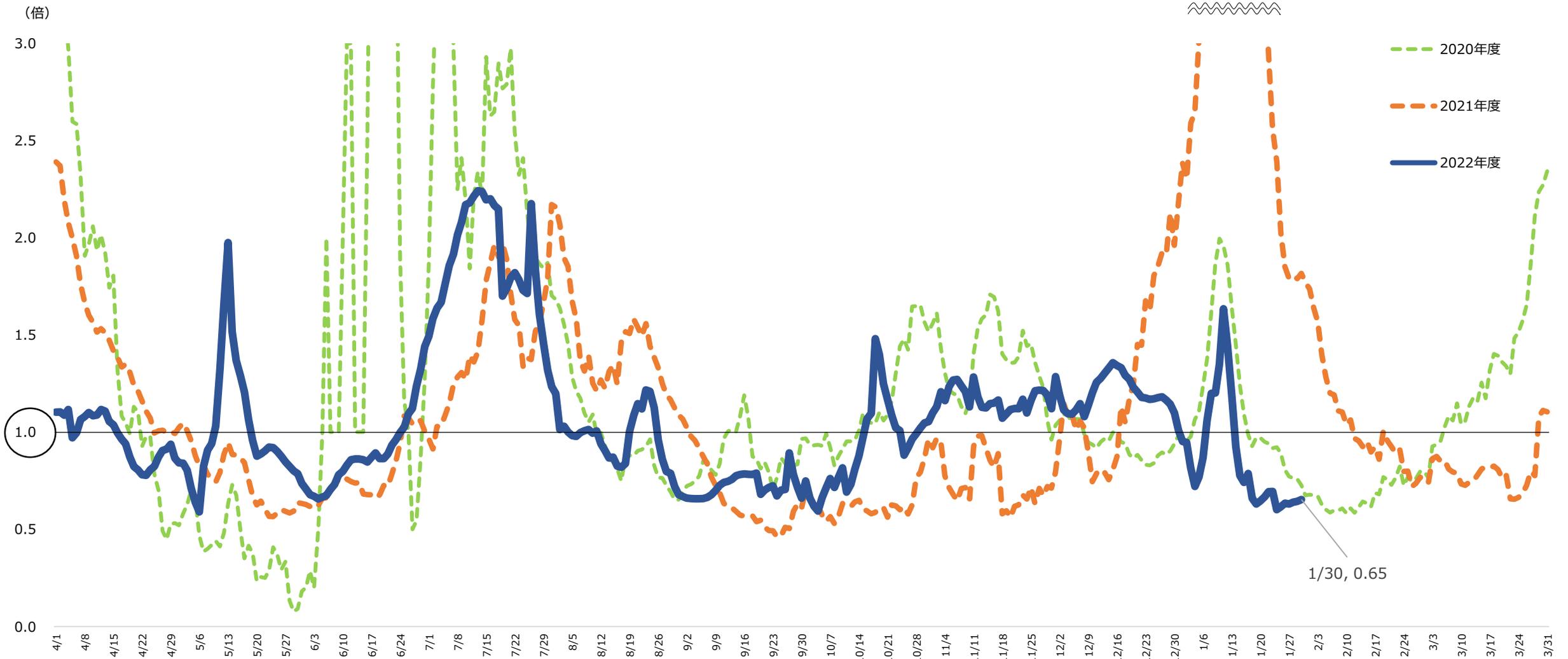
7日間毎の新規陽性者数(1月30日時点)

◆ 直近1週間の新規陽性者数は3,847人/日で、減少傾向が続いている。



新規陽性者数移動平均 前週増加比 (1月30日時点)

◆ 新規陽性者数前週増加比は、1を下回った状態が継続。



新規陽性者数及び前週同曜日増加比の推移（1月30日時点）

上段：新規陽性者数
下段：前週同曜日増加比

◆ 新規陽性者数の前週同曜日増加比は、1月18日以降、1を下回る日が続き減少傾向。

	日	月	火	水	木	金	土	
12月	11/27	28	29	30	12月1日	2	3	週合計
	4,465	2,102	6,646	6,661	5,806	5,409	5,443	36,532
	(1.19)	(1.15)	(1.08)	(1.01)	(2.20)	(0.92)	(0.92)	(1.11)
	4	5	6	7	8	9	10	週合計
	4,582	2,326	7,955	7,815	6,950	7,076	7,247	43,951
	(1.03)	(1.11)	(1.20)	(1.17)	(1.20)	(1.31)	(1.33)	(1.20)
	11	12	13	14	15	16	17	週合計
	6,663	3,355	10,679	10,334	9,585	8,725	9,161	58,502
	(1.45)	(1.44)	(1.34)	(1.32)	(1.38)	(1.23)	(1.26)	(1.33)
	18	19	20	21	22	23	24	週合計
	7,612	3,753	12,068	12,223	11,182	10,537	10,986	68,361
	(1.14)	(1.12)	(1.13)	(1.18)	(1.17)	(1.21)	(1.20)	(1.17)
	25	26	27	28	29	30	31	週合計
	8,912	4,549	13,962	13,414	11,725	9,527	6,929	69,018
	(1.17)	(1.21)	(1.16)	(1.10)	(1.05)	(0.90)	(0.63)	(1.01)

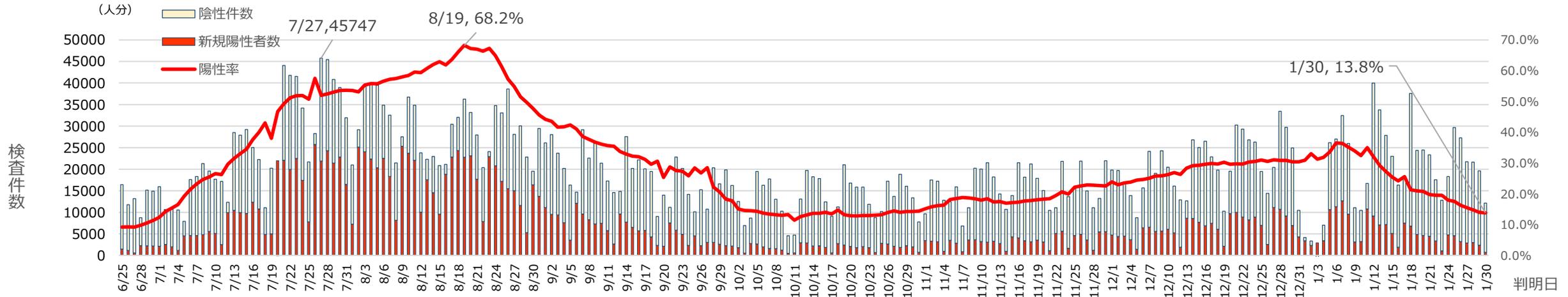
	日	月	火	水	木	金	土	
1月	1	2	3	4	5	6	7	週合計
	6,206	4,978	6,343	7,251	15,741	15,957	16,686	73,162
	(0.70)	(1.09)	(0.45)	(0.54)	(1.34)	(1.67)	(2.41)	(1.06)
	8	9	10	11	12	13	14	週合計
	12,540	5,661	5,985	14,009	11,454	9,039	8,993	67,681
	(2.02)	(1.14)	(0.94)	(1.93)	(0.73)	(0.57)	(0.54)	(0.93)
	15	16	17	18	19	20	21	週合計
	6,573	3,369	9,406	8,239	6,230	5,824	5,480	45,121
	(0.52)	(0.60)	(1.57)	(0.59)	(0.54)	(0.64)	(0.61)	(0.67)
	22	23	24	25	26	27	28	週合計
	4,242	1,842	5,928	5,583	4,009	3,582	3,679	28,865
	(0.65)	(0.55)	(0.63)	(0.68)	(0.64)	(0.62)	(0.67)	(0.64)
	29	30	31	2月1日	2	3	4	週合計
	2,901	1,246						
(0.68)	(0.68)							

検査件数と陽性率（1月30日時点）

◆ 陽性率は1月30日時点で13.8%と減少傾向。

1月16日～1月22日の1週間における陽性判明率は、自費検査は6.0%、無料検査は5.6%と、ともに減少。

【行政検査】



※令和4年9月27日以降の新規陽性者数は医療機関より報告された患者数

※令和4年9月27日以降の陽性率の算出方法は以下のとおり
 分子：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった患者数の合計
 分母：直近1週間で把握した医療機関から報告のあった検査件数の合計

【自費検査】

自費検査提供機関（府内に営業所がある自費検査のみを提供する民間会社等）及び新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）において有料で実施した検査件数

期間	自費検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
1/2～1/8	2,596 件	388 名	14.9 %
1/9～1/15	3,311 件	231 名	7.0 %
1/16～1/22	2,544 件	153 名	6.0 %

【無料検査】

新型コロナウイルス検査実施事業者（薬局等）で実施された検査件数
 （ワクチン検査パッケージ・対象者全員検査等定着促進事業と感染拡大傾向時の一般検査事業の合計）

期間	無料検査件数	(参考値) 陽性判明数	陽性判明率
1/2～1/8	46,179 件	7,169 名	15.5 %
1/9～1/15	47,214 件	4,652 名	9.9 %
1/16～1/22	39,404 件	2,213 名	5.6 %

※このほか、高齢者施設等（入所・居住系）の従事者に対する抗原キット定期検査を実施。

※陽性判明数の中には、府外に発生届が提出されている人や確定診断されていない人も含まれるため、陽性判明数は参考値としている。
 （陽性者数は、国のシステム（HER-SYS）上、行政検査、自費検査、無料検査、のいずれかで陽性となったかは区別ができない。）

＜（参考）第七波における最大陽性判明率＞

・自費検査…14.6%（8/15～8/21）・無料検査…10.2%（8/1～8/7）

ゲノム解析による変異株の検出状況

◆ 現時点でのゲノム解析による変異株の検出状況としては、特に特定のオミクロン株亜系統への置き換えは確認されていない。

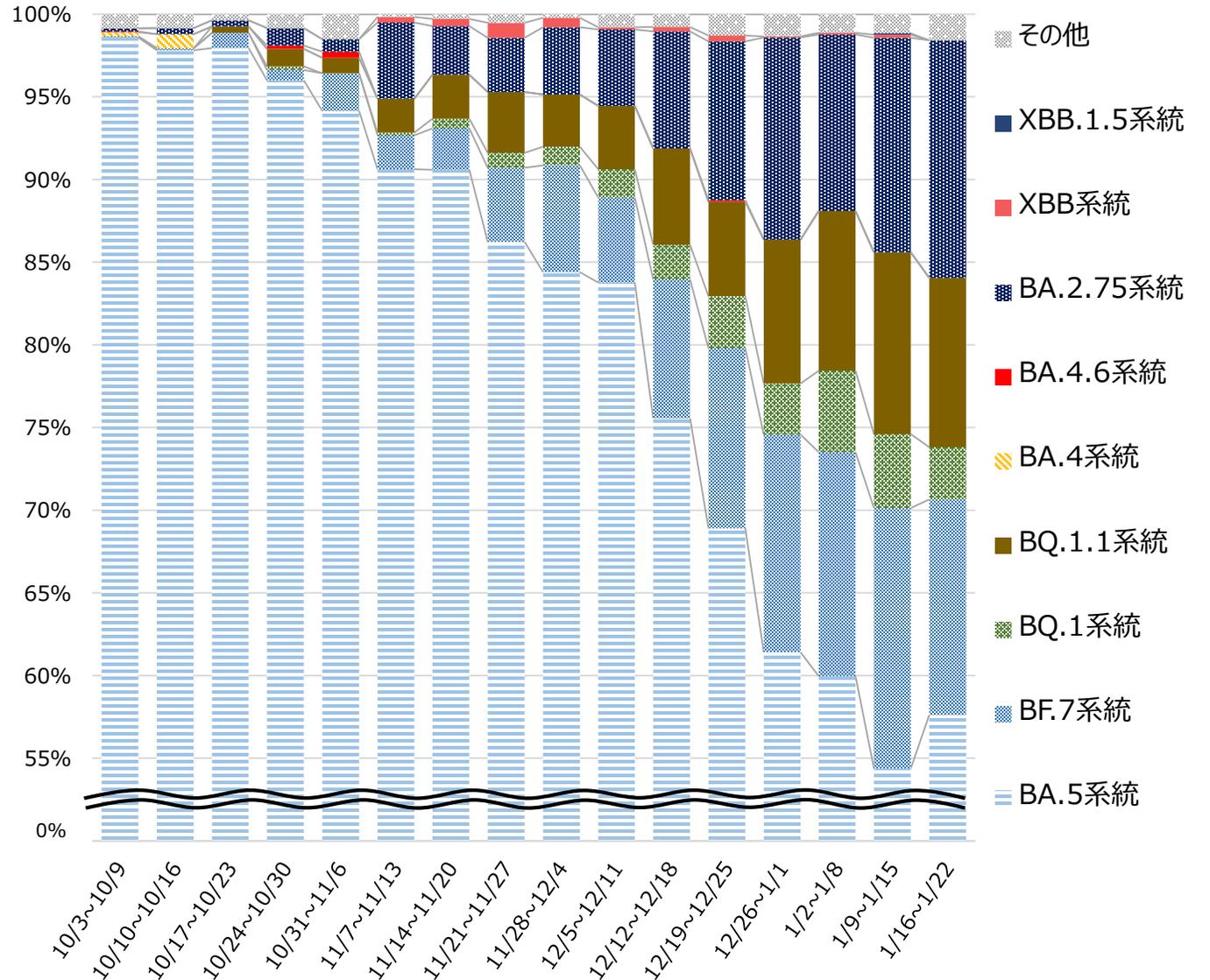
直近1週間（1/16-1/22）における検出割合

亜系統 pango lineage	解析件数	検出割合
累計	874 件	-
BA.2.75系統	118 件	13.5 %
BA.4系統	0 件	0 %
BA.4.6系統	0 件	0 %
BA.5系統	473 件	54.1 %
BF.7系統	107 件	12.2 %
BQ.1系統	26 件	3.0 %
BQ.1.1系統	84 件	9.6 %
XBB系統	0 件	0 %
XBB.1.5系統	0 件	0 %
その他（BA.2系統等）	13 件	1.5 %
判定不能	53 件	6.1 %

子孫亜系統の件数を含む。（例）BA.2.75系統 → BA.2.75.3.1等を含む
 (※) 「BA.4とBA.4.6」、「BA.5とBF.7とBQ.1とBQ.1.1」、「XBBとXBB.1.5」は別々に計上

【亜系統名について】 ◆BF.7 = BA.5.2.1.7 ◆BQ.1 = BA.5.3.1.1.1.1.1
 ◆XBB = BA.2.10系統の亜系統とBA.2.75.3系統の亜系統の組み換え体

週別の検出割合（判定不能を除く）



※ゲノム解析はウイルス量の多い検体を対象にしているため、変異株スクリーニング後の全検体に対して実施しているわけではない。

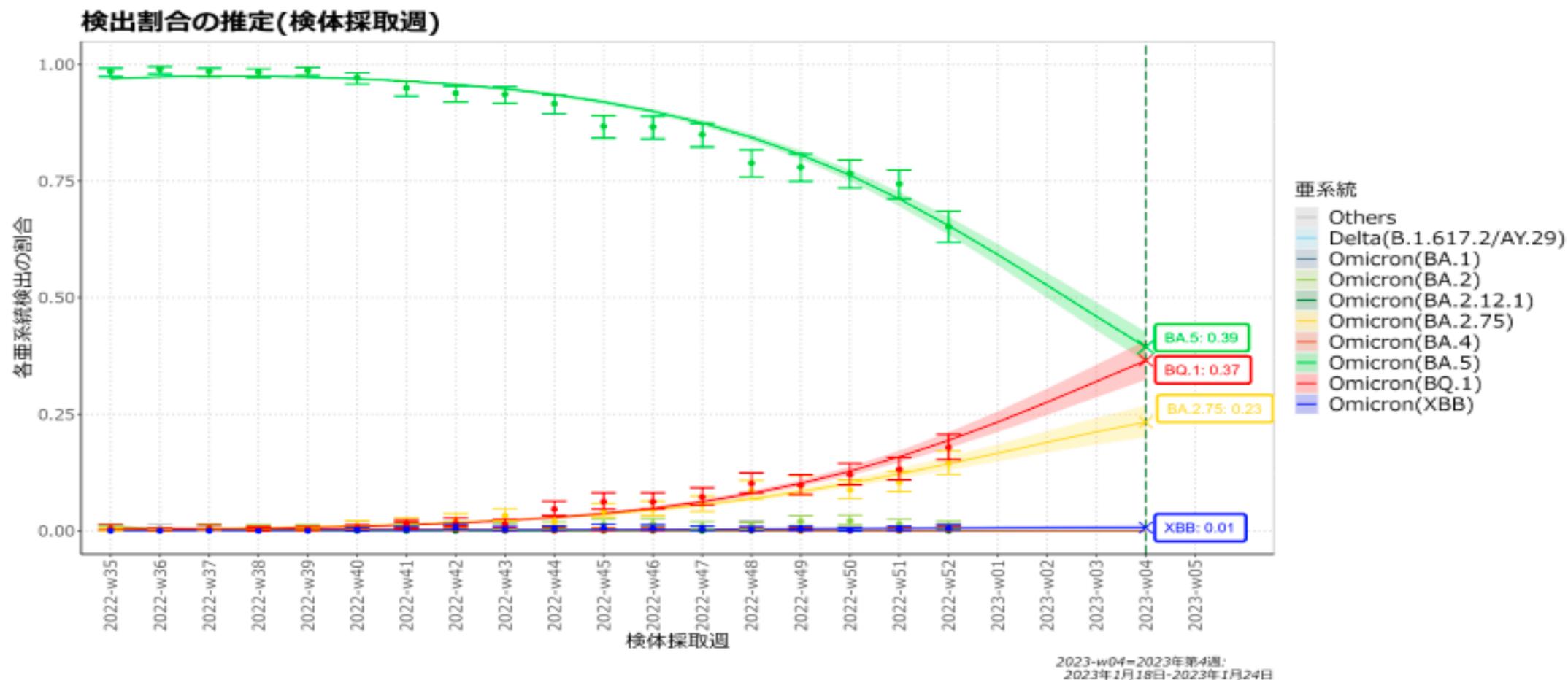
【参考】亜系統検出割合の推定(1月17日時点)

◆ アドバイザリーボードにおいて、

「国内では現在BA.5系統が主流となっているが、BQ.1系統やXBB系統などのオミクロン株の亜系統、特に米国中心に報告されているXBB.1.5は、より免疫逃避が起こる可能性があると考えられ、海外で感染者数増加の優位性が指摘されている。

特にBQ.1系統は国内で割合が増加しつつあり、注視が必要。

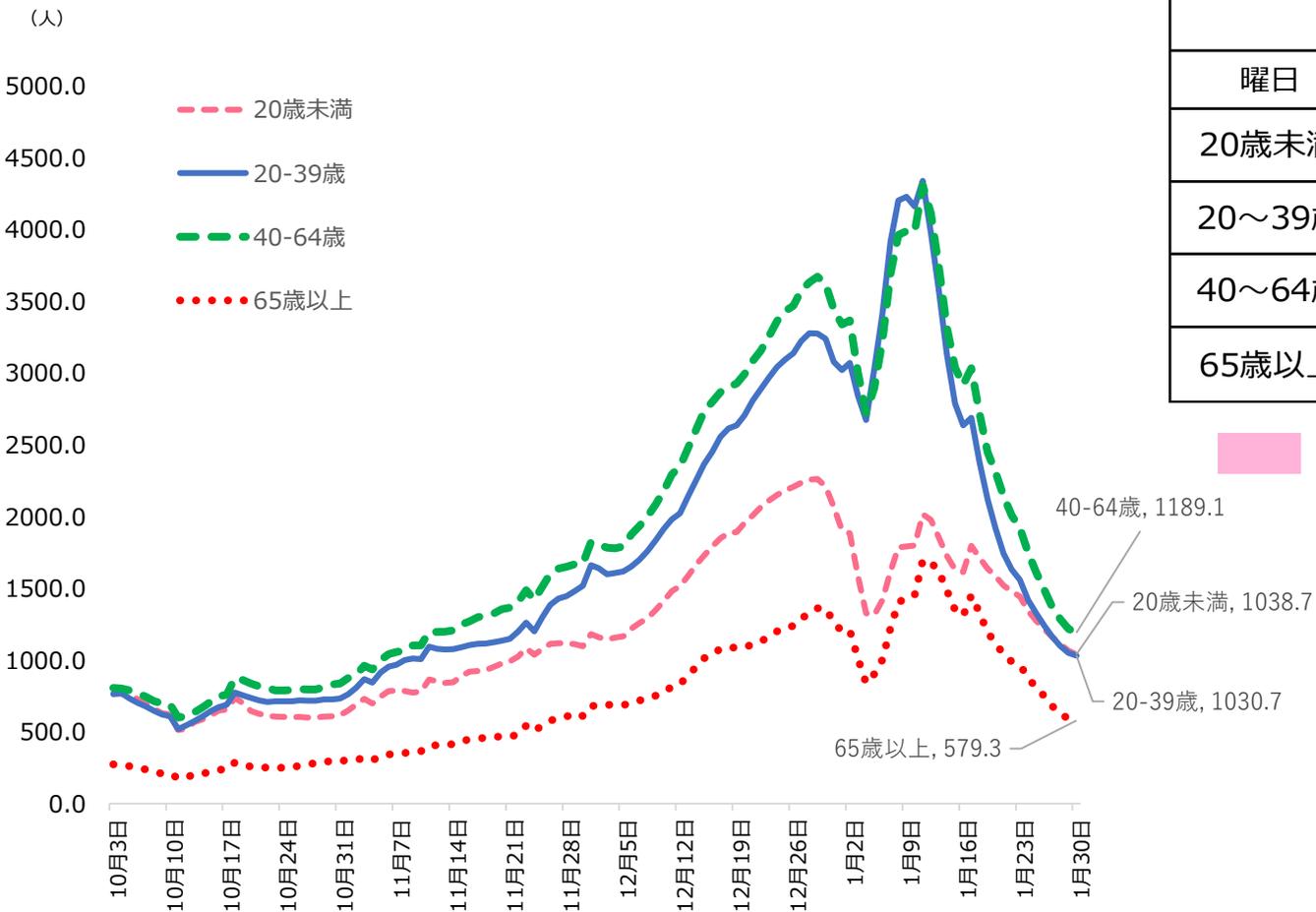
また、BA.2.75系統の亜系統であるBN.1.2系統、BN.1.3系統も国内で割合が増加している。」と評価されている。



陽性者の年齢区分（1月30日時点）

◆ 直近の年代別新規陽性者数は、全年代で減少傾向。

【年代別新規陽性者数（7日間移動平均）】



【年代別新規陽性者数（7日間移動平均） 前日増加比】

	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月
20歳未満	0.97	0.98	0.93	0.95	0.95	0.96	0.96	0.96	0.98
20～39歳	0.94	0.96	0.91	0.93	0.94	0.94	0.94	0.96	0.98
40～64歳	0.94	0.96	0.91	0.92	0.92	0.92	0.94	0.95	0.98
65歳以上	0.96	0.97	0.91	0.91	0.93	0.91	0.92	0.95	0.98

前日増加比が1を超過した日

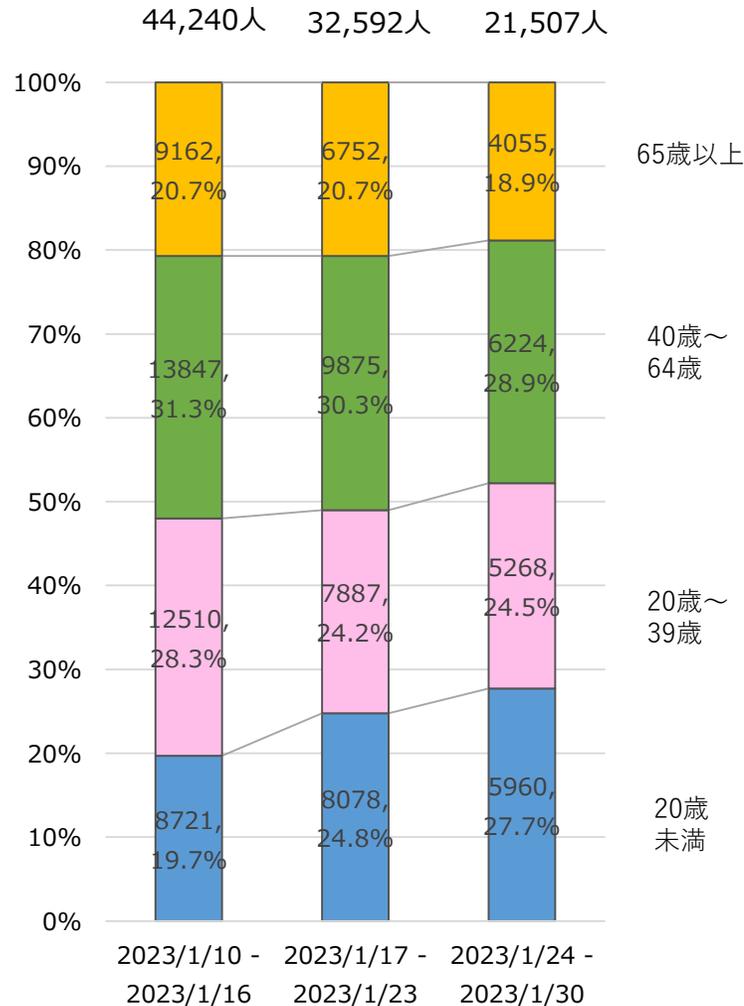
陽性者の年齢区分（1月30日時点）

◆ 陽性者の年齢区分（割合）は、直近で20歳未満の割合が増加。

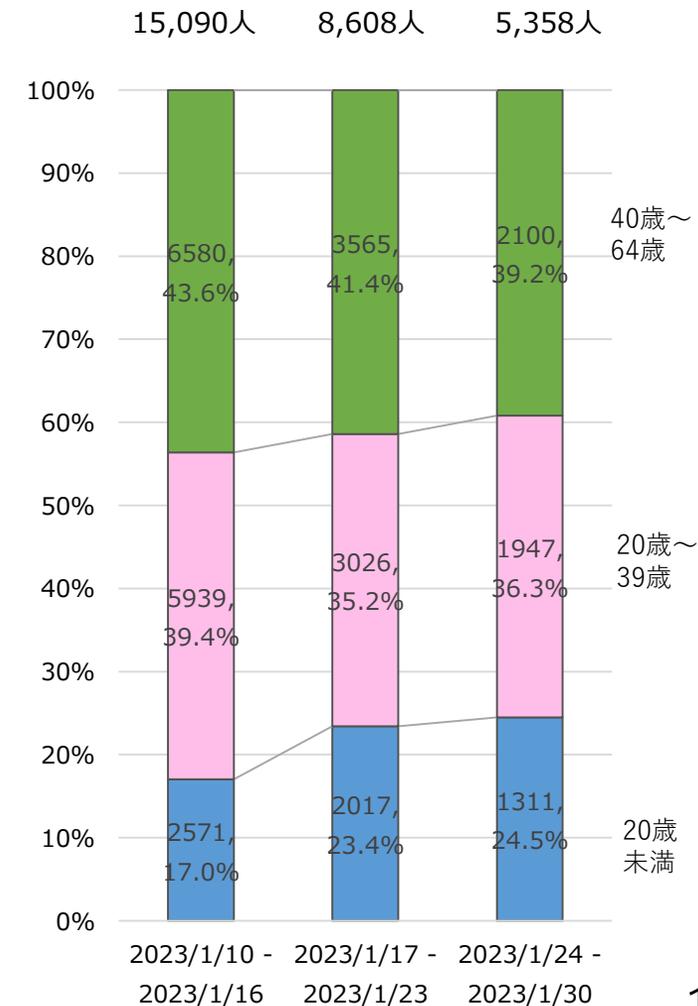
■ 全陽性者（①+②）



① 医療機関から報告された患者



② 自己検査で陽性判明し、陽性者登録センターに登録された患者



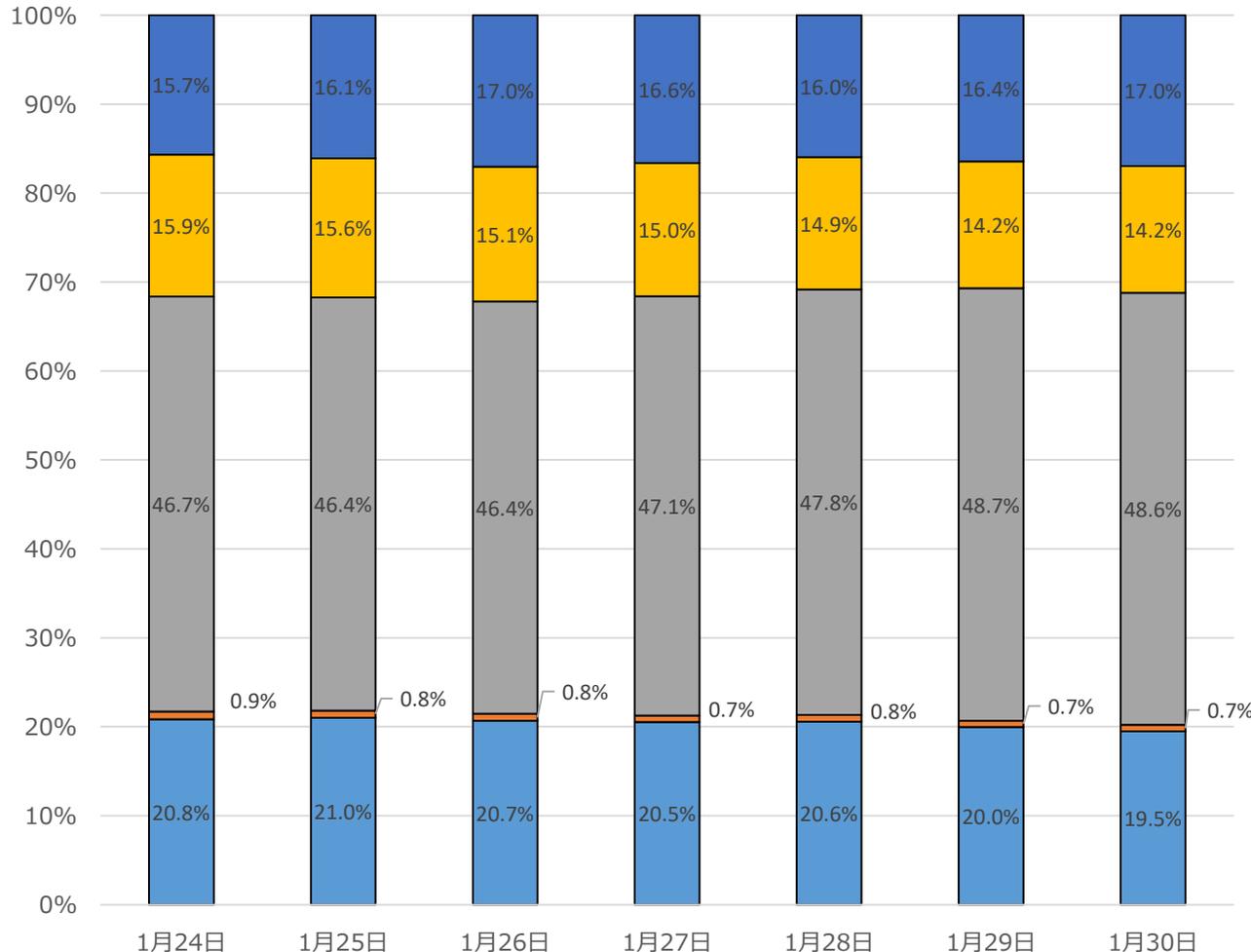
内訳

※年齢不明を除く。

新規陽性者数の内訳（直近7日間移動平均）（1月30日時点）

◆ 新規陽性者（直近7日間移動平均）のうち、発生届対象は14.2%（559人）と概ね横ばいで推移。自己検査を実施し陽性者登録センターに登録した方は、19.5%（765人）と概ね2割前後で推移。

新規陽性者数の内訳



登録センター未登録
（医療機関検査）
666人

発生届提出
（医療機関検査）
559人

登録センター登録
（医療機関検査）
1,907人

登録センター登録
（定期検査等）
28人

登録センター登録
（自己検査）
765人

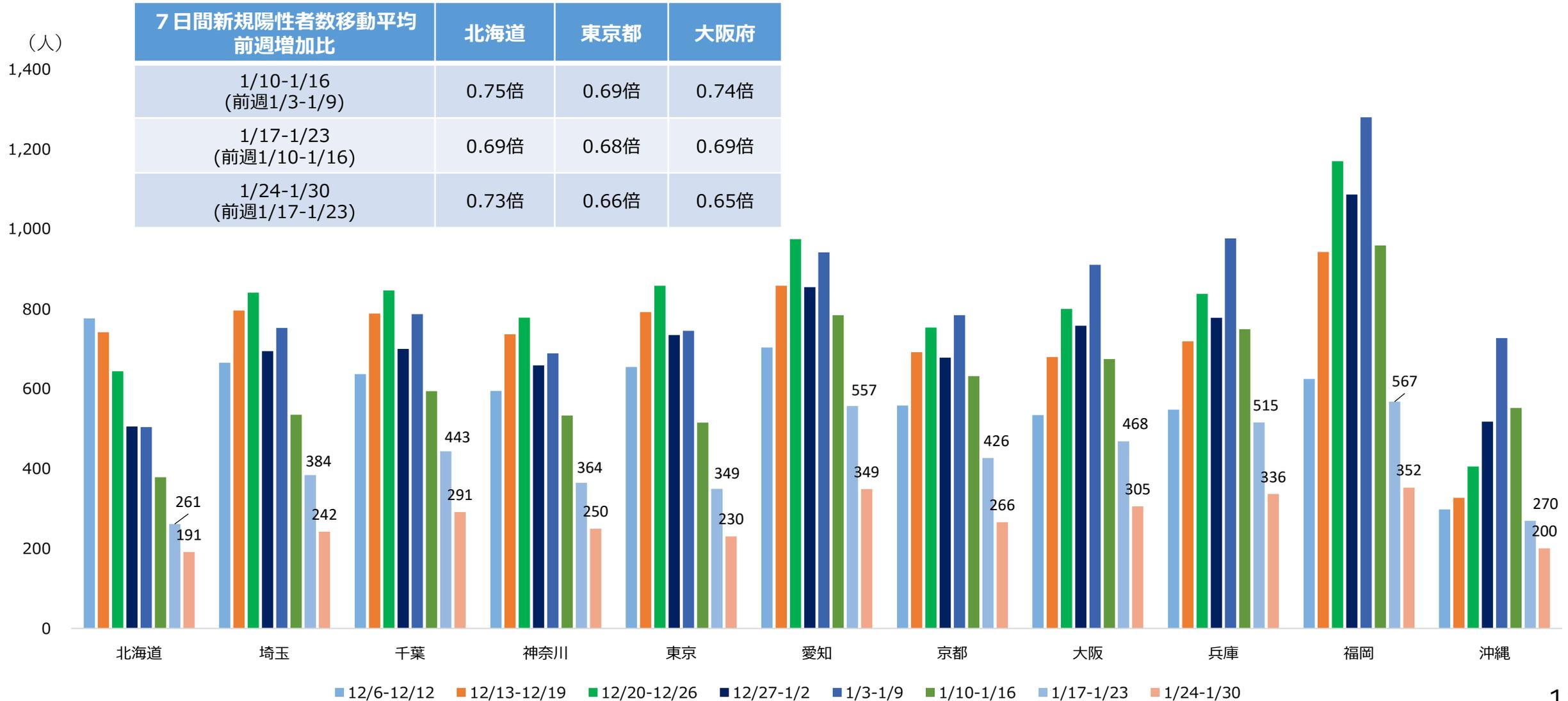
医療機関等受診
80.5%

発生届+登録
83.0%

自己検査
19.5%

各都道府県 週・人口10万人あたり新規陽性者数の状況(1月30日時点)

◆ 週・人口10万人あたり新規陽性者数は、全国的に減少している。



※数値は大阪府による分析に基づく

新型コロナワクチンの年齢別接種率

- ◆ 3回目接種の割合は、全年齢では約6割であり、30代以下では5割を下回っている。
- ◆ 4回目接種の割合は、65歳以上で80.3%（60歳以上では77.6%）。
- ◆ 5回目接種の割合は、65歳以上で57.8%。
- ◆ オミクロン株対応ワクチン接種の割合は、全年齢で34.6%（65歳以上では66.3%）。

	人口	1回目接種	2回目接種	3回目接種	4回目接種	5回目接種
		接種割合	接種割合	接種割合	接種割合	接種割合
65歳以上	2,383,870	93.0%	92.8%	89.4%	80.3%	57.8%
60～64歳	465,262	93.7%	93.5%	85.3%	63.4%	29.1%
50代	1,266,584	90.1%	89.8%	74.6%	40.8%	6.0%
40代	1,275,160	80.3%	80.0%	57.4%	24.2%	3.0%
30代	1,000,857	77.4%	76.9%	49.5%	15.8%	1.7%
20代	976,584	75.7%	75.1%	45.5%	11.5%	1.1%
18、19歳	157,229	78.6%	77.9%	40.6%	10.2%	0.1%
12～17歳	459,198	57.5%	56.8%	26.8%	7.5%	
5～11歳	498,998	8.4%	8.1%	2.9%		
生後6か月～4歳	316,984	1.5%	1.1%	0.0%		
不明						
合計(全年齢)	8,800,726	76.9%	76.6%	61.6%	38.4%	18.8%
合計(5歳以上)	8,483,742	79.7%	79.4%	63.9%	39.8%	19.5%
合計(12歳以上)	7,984,744	84.2%	83.8%	67.7%	42.3%	20.7%
合計(18歳以上)	7,525,546	85.8%	85.5%	70.2%	44.5%	22.0%

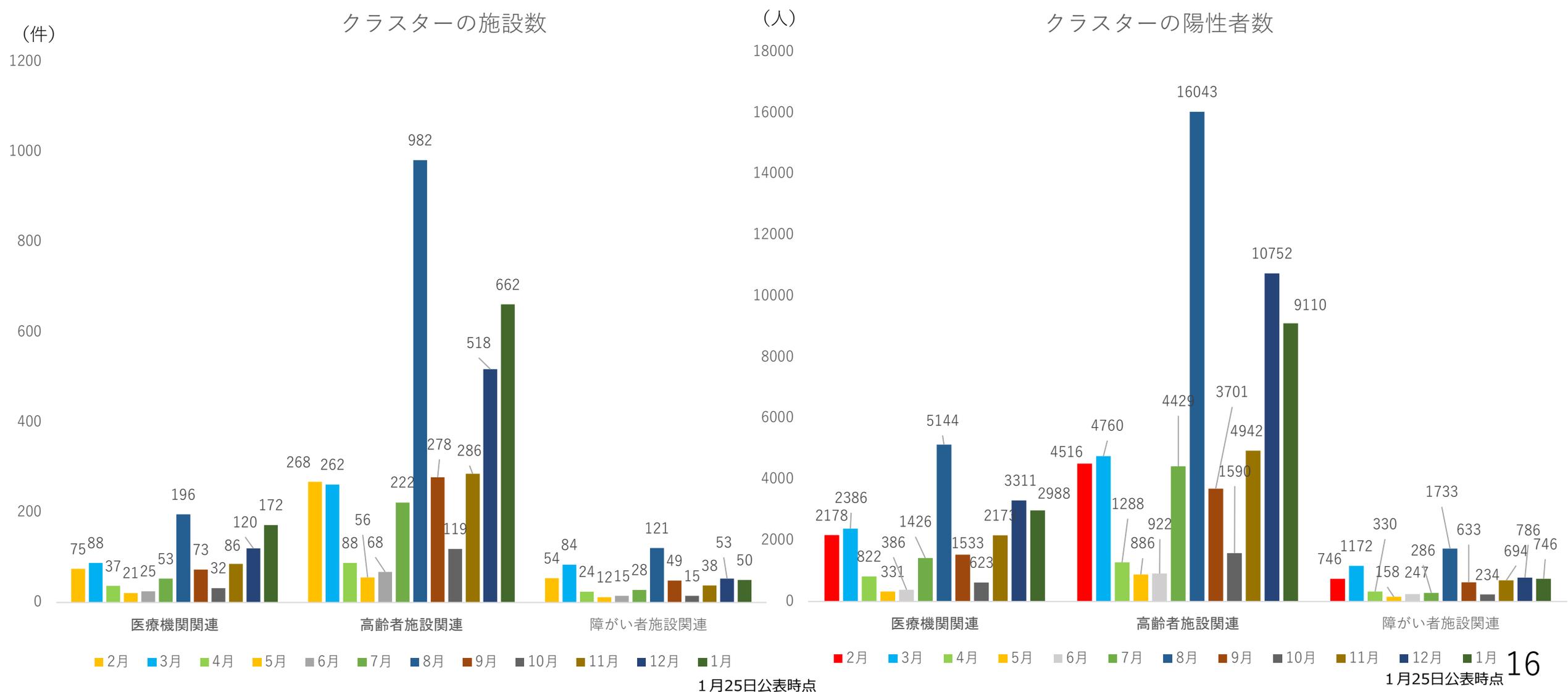
4回目接種 (60歳以上)
77.6%

オミクロン株対応 ワクチン接種 (全年齢)
34.6%
うち65歳以上
66.3%

2 クラスターの発生状況

クラスター状況【実数】（公表日別 月単位）（1月25日公表時点）

◆ 高齢者施設関連のクラスター発生数は、8月にみられた急激な増加はないが、ゆるやかな増加が長期間継続している。

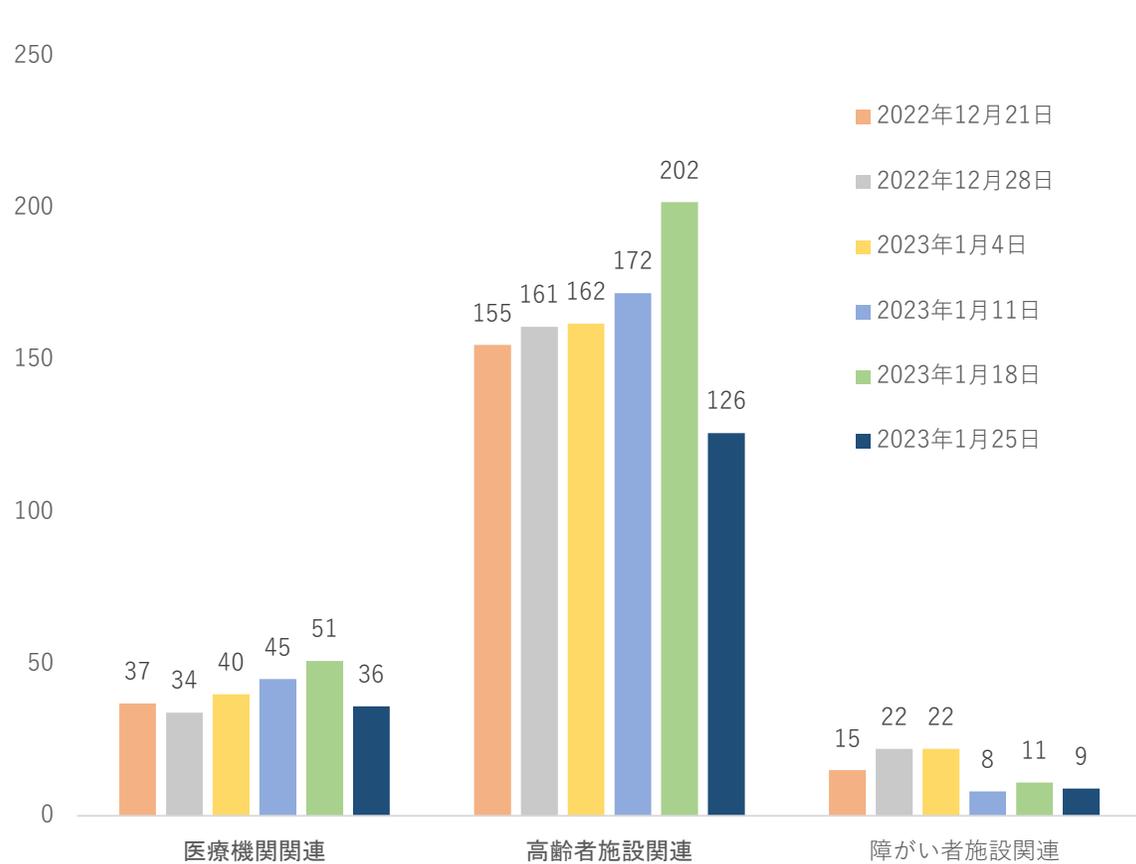


※収束していないクラスターを含む。また、オミクロン株は感染性が高いため、規模の大きいクラスターが一部存在。

クラスター状況【実数】（直近6週 週単位）（1月25日公表時点）

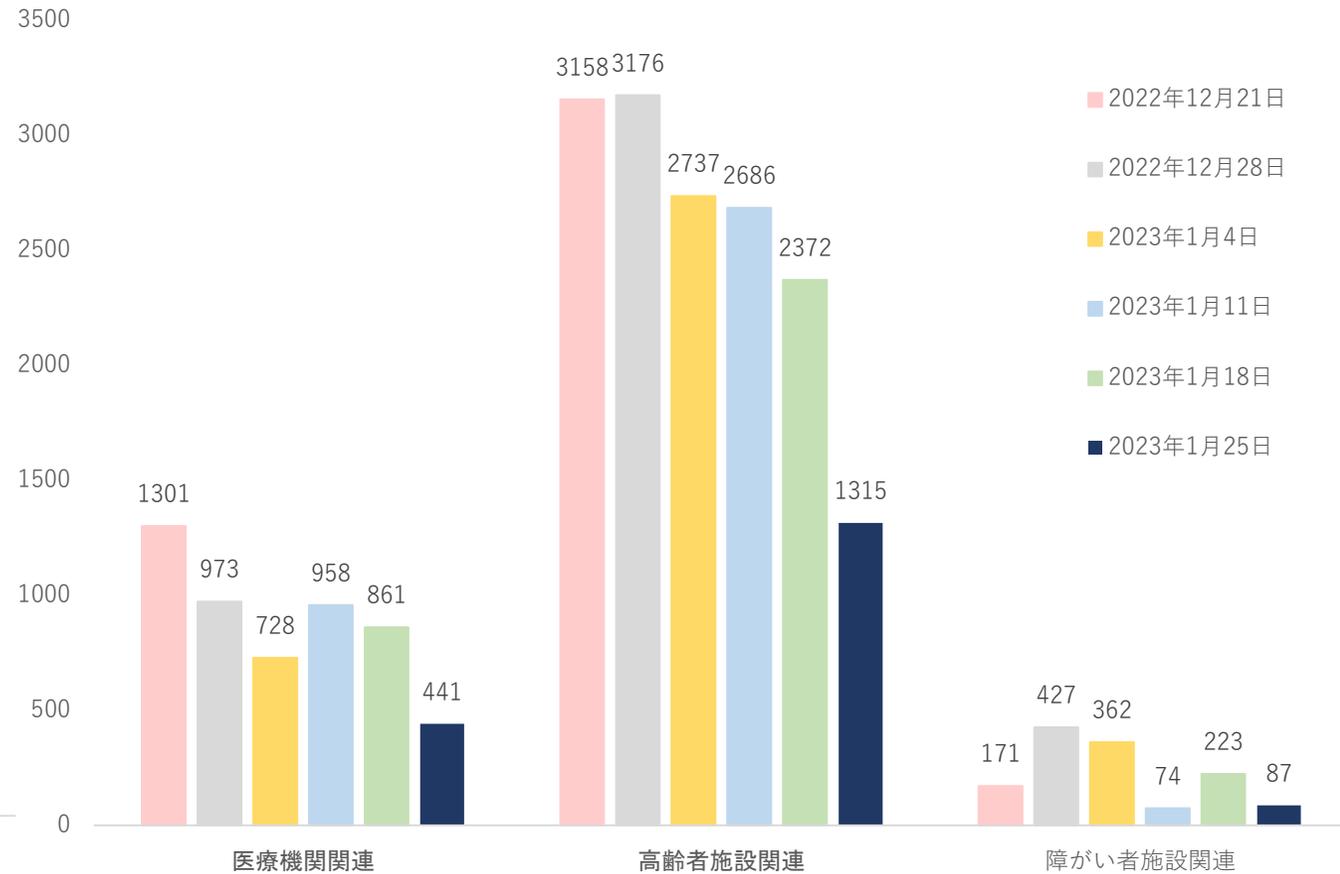
(件)

クラスターの施設数



(人)

クラスターの陽性者数



3 【参考】インフルエンザの流行状況

インフルエンザの流行状況（大阪府における定点あたりの患者報告数※の推移）

◆ 今年の第3週（1月16日～1月22日）では20.46で、前週の12.22から増加。

※「定点あたりの患者報告数」とは、定点医療機関からの総患者報告数を定点医療機関数で割った数のこと。
 インフルエンザの流行期入りの目安は「1」。
 定点医療機関とは、定点把握対象5類感染症（インフルエンザ等）の発生状況を地域的に把握するため、人口及び医療機関の分布等を勘案して選定した医療機関のこと。インフルエンザの定点医療機関数は「300」。

